

研修だより

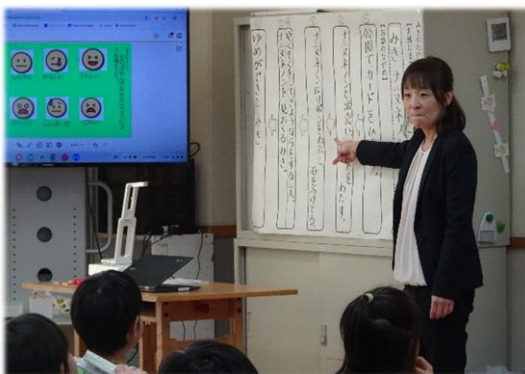
No.8

公開研お疲れさまでした！

11月28日(金)に第16回公開研究会が開催されました。今年度の研究内容や授業、子どもたちの様子などを見ていただき、たくさんのご意見を頂戴しました。各ブロックの分科会で出た意見をまとめましたのでご覧ください。

低学年ブロック 2年3組辻学級 国語「みきのたからもの」

○成果 △課題 ?意見・質問



仮説1について

- 授業構想シートが子どもたちにとっても学習の見通しがもてるため効果的であった。
- ループリックも効果的であった。
- 今日がんばることがわかるので主体性につながっている。
- 振り返りの内容で困ることがあるが、これがあるとよいので真似をしていきたい。
- ?ループリックの文言で「発表することができる」よりも「発表して、交流しようとする」の方がよかったのではないかな。
- クラスの実態を見て「発表することができる」をポイントにしていた。



仮説2について

- 子どもたちが自分の言葉で楽しみながら活動していた。
- 指示が少なめでよい。 ○友だちからの評価が嬉しそう。
- 1単位時間に何回も交流があることがよい。
- 他の子の考えを聞いて、自分の間違いに気付いている子がいて深い学びにつながっていると思う。
- △子どもたちが「よいと思います」と反応していたが、今後は他の言葉もあるとよい。
- クラスの課題で4月から取り組みを続けている。少しずつ反応が出てくるようになってきているので、今後も継続していく。
- ?全体交流のタイミング、早く書けた子から交流し、付け足しなどもできたのではないかな。
- クラスの実態を考えて行っている。今回は、これまでよりも時間を早めてスタートすることができていた。今後様子を見て進めていく。



その他

- クラスの雰囲気がとてもよい。
- 学習のルールがしっかりできている。
- タブレットで表情を選ぶ活動がよかった。文章から根拠を見つけ、考えて選ぶことができていた。
- ICTの活用が最小限でよかった。(どうしてもたくさんやりたくなるが…)
- 一つ一つの活動で評価が目に見えていてよかった。これまでの活動が見られた。

指導主事より

- ・仮説1について→到達目標があることで、自分の目標を明確にすることができる。
- ・仮説2について→個の学びと全体交流の往還により対話的、協働的な学びにつながる。
- ・授業デザインが学習の土台になっていた。登場人物の性格、行動、心情の変化をしっかりとらえることを大切にできていた。
- ・「心のきよりメーター」で自分で表現していく仕組みがよかった。
- ・言葉と言葉の関係の大切さを意識していた。(根拠になる言葉を見つけ、言葉で表現をする)
- ・「家の人に紹介する」ために自分で読んで、みんなで整理し、また自分で根拠を明確にするという言語活動の位置づけになっている。
- ・行動を具体的にイメージさせる問い返しがあった。(動作化や言葉について確認)
- ・今後は、次の学年に向けて双方性のある協働的対話へ主体的、対話的な学び、協働的な学び、仲間の考えを聞いて自分の考えにつなげていけるように。